

株式会社クボタとその関連会社（以下「クボタグループ」）は、2015年に成立した英国現代奴隷法に関して、同法第54条の定めに基づき、本ステートメントを公表します。クボタグループは、自社事業及びサプライチェーンを通して人権侵害を犯さない・加担しないよう努めており、以下に現代奴隷撤廃のための取り組みについて述べます。

尚、当ステートメントでは、現代奴隷については、同法の定義に従います。

1. 組織体制 及び サプライチェーン

■企業・事業の概要については、以下のWEBサイトをご参照ください。

URL: <http://www.kubota.co.jp/siryousiryousiryou.html>

■クボタ製品の部品や一部完成品は、日本国内外の調達パートナーから調達しています。

調達パートナーの数は、2016年12月現在で約3,100社あります。

2. 方針

(1) クボタグループに適用する方針

■クボタは、クボタグループの社会的責任の基本姿勢を示した「クボタグループ行動憲章」を定めています。その中で、人権尊重の方針を次のように定めています。

『人権の尊重：すべての人の尊厳と権利を尊重し、人権侵害を行いません。』

詳細は以下のWEBサイトをご参照ください。

URL: <http://www.kubota.co.jp/csr/policy/conduct.html>

■また、クボタグループで働く一人ひとりが自ら「クボタグループ行動憲章」を実践していくために、「クボタグループ行動基準」を制定しています。その中で、人権尊重については、次のように定めています。

人権の尊重：

- ・私たちは、世界人権宣言を支持し、すべての人の人権を尊重します。
- ・私たちは、国籍、人種、年齢、性別など、いかなる事由による差別も人権侵害も行いません。
- ・私たちは、強制労働や児童労働を認めず、取引先に対しても、その旨を要請します。

詳細は以下のWEBサイトをご参照ください。

URL: <http://www.kubota.co.jp/csr/policy/conduct.html>

(2) サプライチェーンに適用する方針

■サプライチェーンに対しては、調達方針及び「クボタグループCSR調達ガイドライン」を制定しています。その中で、人権尊重については、次のように定めています。

人権の尊重：

- ・私たちは、世界人権宣言を支持し、すべての人の人権を尊重します。
- ・私たちは、国籍、人種、年齢、性別など、いかなる事由による差別も人権侵害も行いません。

- ・私たちは、強制労働や児童労働を認めず、取引先に対しても、その旨を要請します。
- ・反政府武装勢力の資金源となっている紛争鉱物の使用を禁止するよう推進し、万一、紛争鉱物の使用が判明した場合は、速やかに不使用化に向けて取り組みます。

詳細は以下の WEB サイトをご参照ください。

URL: http://www.kubota.co.jp/report/so_partners/index.html#procurement

3. デュー・ディリジェンス

(1) クボタグループの取り組み

- ・人権尊重を含むクボタグループ行動憲章・行動基準を入社時に社員に配布・説明し、遵守する旨の誓約書を取っています。
- ・毎年、クボタグループ各社向けに人権に関する取組状況調査を実施して、状況を確認しています。
- ・また、クボタグループ各社において内部通報制度を整備し、人権侵害の通報を含む不正・不法・ハラスメント行為の対応窓口を設置しています。

(2) サプライチェーンに関する取り組み

サプライチェーンに対しては、WEB サイト上に調達方針及び「クボタグループ CSR 調達ガイドライン」を公開して、調達パートナーに「クボタグループ CSR 調達ガイドライン」の遵守を要請しています。

クボタグループは、今後も、前記の取り組みを継続して推進していきます。

2017年6月

株式会社 クボタ

代表取締役 副社長執行役員

CSR 本部長

久保 俊裕

久保俊裕
